

グローバルにいがた @世界の街

チリ・サンティアゴ

月曜掲載



「治安は大丈夫か」「店や交通は整備されているか」。そんな不安を抱えつつ、サンティアゴに住んで1年半以上がたちました。周りで支えてくれる方々のおかげもあり、快適に暮らせています。チリはまず、ワインが安くおいしい。ワイナリーもたくさんあり、試飲ツアーは選び放題です。国土が南北に細長いのも面白い。北には巨大なアタカマ砂漠があり、その標高と天候を生かし、生命や星の誕生の秘密を解明しようとしているアルマ天文台が建てられています(そこで働く人か

万人を包むデカイ国

成田 憲司さん

田上町出身



チリの休日「ディエシオチョ祭」で競馬ゲームに興じるサンティアゴの人々。会場では多くの人が飲食や買い物などを楽しんでいた

ら、日本の町工場の技術が望遠鏡に生かされていることを聞きました。南には「風の大地」と呼ばれるパタゴニアがあります。国際的には認められていませんが、チ

リは南極の一部までの領有を主張しています。数日後のニュースで、駐車車両

チリは銅の採掘でも知られていますが、世界一の採掘量を誇るだけあり、日本の関連企業の人々もたくさん派遣されています。彼らは、時折、四駆車を使って砂漠を走り回り、鉱山の様子をリサーチしています。そんな方々の話を聞くと、

「日本で当たり前だと思っていた暮らしは、世界で活躍する人々に支えられている」と感じます。

治安の不安は残念ながらも中したようです。暮らしているサンティアゴは大会で、毎日のように拳銃強盗のニュースが流れているので、気が抜けません。知り合いの何人もが、すりや引ったくり被害に遭っています。私自身は市場での買い出しのために路上駐車し、戻ってきたらサイドミラーが盗まれていたことがあります。

知り合いの紹介で修理店に行ったら直しましたが、後で調べたら、盗まれた場所と修理店があまりに近すぎることが引つかりました。新潟日報デジタル版にも掲載。執筆希望も受け付けています。



海外で暮らす本県関係者が現地の様子を紹介します。ウェブサイトに新潟日報デジタル版にも掲載。執筆希望も受け付けています。